

ICT技術の活用

2017年11月28日

Webサイト (COE) および検証・開発ラボ (COLab)開設の目的

- オープンイノベーション推進のため、外部から広く取り入れた新たなアイデアなどを検証し、ICT技術を活用した付加価値サービスを開発する「場」をご提供

■ COE (声)



当社取り組みの紹介
アイデアやサービスの募集

URL
<http://coe.chuden.jp>



お客さま

付加価値
サービス



社会

■ COLab (コラボ)



最新のICT技術、オープン
ソースソフトウェアの検証

所在地
名古屋市東区東桜2-13-1

アイデア

ベンチャー企業、
大学、研究機関等

<ねらい・目的> 中部電力と一歩先を行く事業創造を

電力ネットワークカンパニーが保有する様々な設備や情報等を活用した新たなサービスを、ベンチャー企業や大学、研究機関の皆さまと創り上げていくプログラムです。

送配電部門が保有する設備・情報等

- 電柱・鉄塔・通信等の送配電設備
- 24時間・365日休みなく設備運用するノウハウ
- 中部エリアをくまなくサポートする事業展開



事業領域



メディカル・ヘルスケア



物流



社会インフラの
維持運用



産業活性化



くらしの快適



インバウンド



街の
活性化・スマート化

<進捗状況>

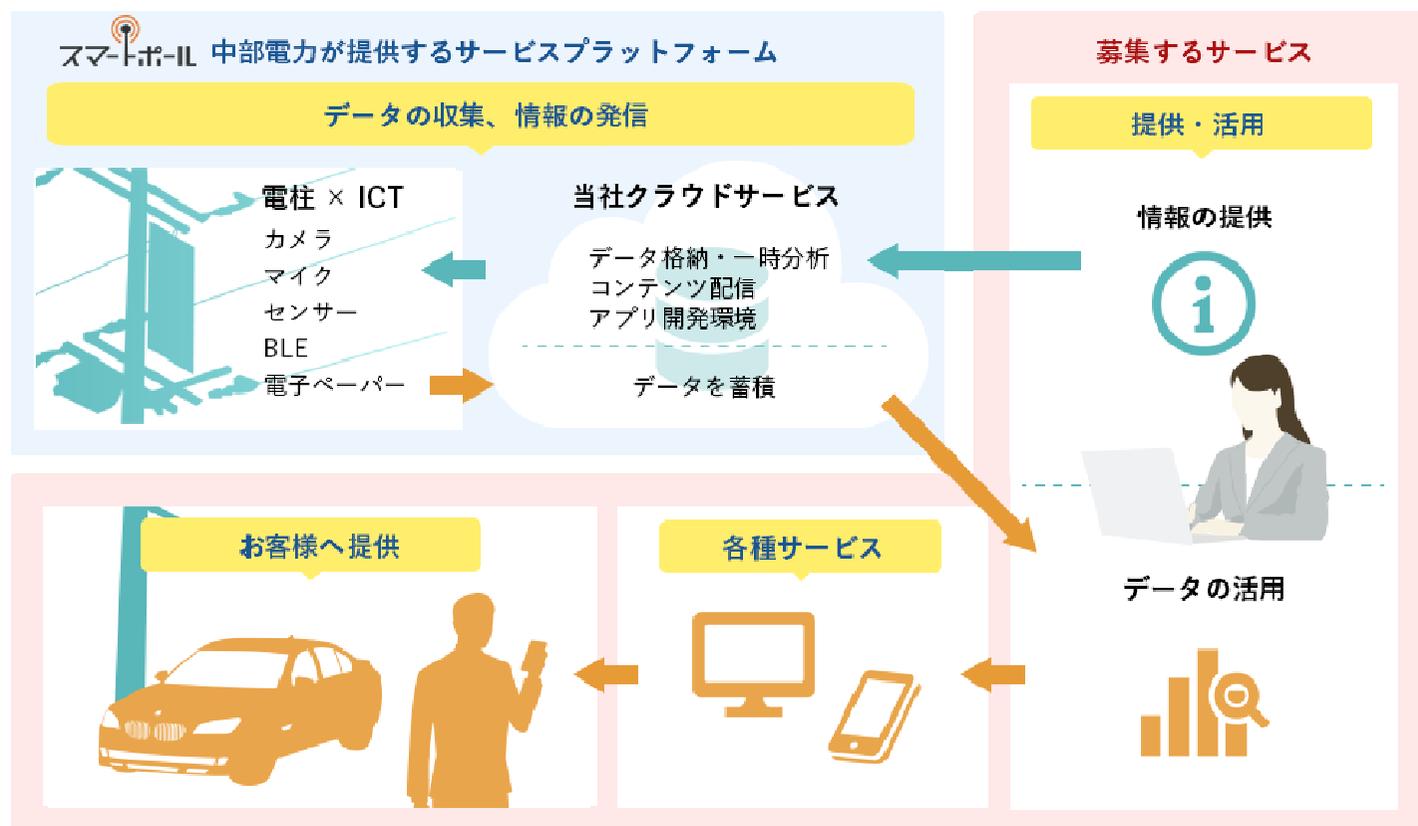
- ・29件中9件が最終選考へ
- ・2018年1月 最終審査

<応募事例>

- ・電線のルートを活用したドローンの自動飛行による物流サービスなど

<ねらい・目的> 電柱×ICTで魅力的なサービスを創出

当社は、電柱上に電子ペーパー、センサー、カメラなどを設置し、新たな地域サービスの提供に必要なインフラの構築を検討しており、このインフラを活用し、事業化に向けて協業いただけるパートナー企業を募集するプログラムです。



<進捗状況>

- ・21社中7社が書類審査を通過
- ・通過企業と個別検討を開始

<応募事例>

- ・電柱に取り付けたカメラによって通行者の性別・年齢等を把握し、その方に適した情報を掲示するサービス など

<ねらい・目的> 革新的な技術・ソリューション募集

当社は、お客さまへ優れた電力ネットワークサービスを提供するため、業務のより一層の高度化・効率化を図りたいと考えています。当社の様々な業務に関する課題やニーズのうち、ベンチャー企業や大学、研究機関の皆さまと共同で取り組んでいきたい課題やニーズを募集テーマとして公開し、幅広く技術やソリューションのご提案を募集するプログラムです。

<募集テーマ>

- 持ち出し機器・書類の紛失防止
- 樹木の自動判別技術
- 社有車の運行管理
- 設備の遠隔確認 など



<進捗状況>

- ・10月末までに17社から応募
- ・4社に対し詳細提案を依頼
- ・引き続き12月22日まで募集中

<応募事例>

- ・無線（LPWA）を活用した持ち出し機器の紛失防止システム

など

オープンイノベーション検証・開発ラボ「COLab」の概要①

Room A コワーキングスペース

リラックスしてアイデア創出ができる、ブルックリンのカフェをイメージ



ベンチャー企業や、大学、研究機関の皆さまとともにアイデアを出し合い、新たなサービスの仮説を設定。

Room B スコーピンググループ

アイデアの具現化のため、リビングのようなスペースを用意



サービス内容を具現化するため、ターゲットとなるお客さま像の設定やサービス提供の優先度設定を実施。

オープンイノベーション検証・開発ラボ「COLab」の概要②

Room C ソフトウェア開発ルーム

壁面の活用等、開発作業に集中しやすい場所を提供



最新のICT技術を活用したサービスを実現するソフトウェアを開発。

Room D 新技術検証ルーム

AIスピーカーやVR機器等、実機の検証作業ができるスペースを用意



AIやビッグデータ、音声認識、解析技術、センサー技術などの最新のICT技術を検証。